

本部ニュース 123 号より

Annual Report 2015 for Europe

By Rolf Gunnar Heitmann, Area Coordinator for Europe

2015 年ヨーロッパ年次報告

ヨーロッパ地区コーディネーター ロルフ・ガナー・ハイトマン 翻訳：駒井洋子

報告：アムジ (AMZI)

2015 年、アムジ (AMZI) には 2 件の大きな事柄がありました。その 1 つは、ある研究会に参加したことでした。これは、教会にとってイスラエル国とその国民の重要性を研究するもので、(スイス)バーゼル近くのセント・チリスチョーナ神学校主催で行われました。この神学校は、スイス、フランス、ドイツ、南アフリカの諸教会のチリスチョーナ運動 (the Chrischona movement) の働きのひとつでもあります。アムジ (AMZI) はこれを母体にして 1968 年に創立されました。新約聖書学者のジェイコブ・シーセン博士は、これまで新約聖書のなかに記述されてきた「イスラエル」という名の意味にはなんら変化はないと彼と同時代の同僚たちも同意していると指摘しています。つまり、これは置換神学の婉曲的な否認であります。昨秋、英国の急成長している福音主義聖公会のある若手の説教者は、「新しいイスラエルだ。それは、我々であり、教会なのだ」と言いました。ユダヤ人に対するこのような態度はまだ一般に普及しているものです。

その数週間後、AMZI とチリスチョーナ運動は、イスラエルの歴史家が企画した展示会を任されました。この展示会は、19 世紀下半期にイスラエルの地 (エレッツ・イスラエル) の発展のために貢献したドイツ、スイスの福音的クリスチャンの重要な働きを展示するものでした。その中には多くのセント・チリスチョーナ神学校の卒業生がいました。聖地では、イスラエルの回復のため心を捧げた英国からのクリスチャンと共に働きました。共に彼らは、オスマン帝国の最も軽んじられ貧しい州に住んでいるユダヤ人とアラブ人のため学校や病院を建てました。

AMZI は、メシアニックジューとメシヤであるイエスに従うアラブ人クリスチャンの双方に専門的にパートナーとして働くものです。昨年はイスラエルのアラブ人クリスチャンコングリゲーションの牧師夫妻と数週間ドイツで働きをしました。これは、アラブ人牧師がアラブ語を話す難民のために教会を建てるのを助けるものでした。中東危機で数十万の難民が流入、特にドイツに流入するのを快く受け入れるというのは、ヨーロッパのクリスチャンにとっては大きなチャレンジとなっています。どのようにして生ける神、イエスの父なる神でありユダヤ人のメシヤの愛を伝え示すことができるのでしょうか。私たちは、中東のクリスチャンのサポートに感謝しています。

ユダヤのメシヤ福音は、最初の受取人であるユダヤ人からすべての人々に向けられています。福音は、メシヤのユダヤ人信者によってユダヤ人と異邦人に広められています。またその逆もあります。最近の宣教における特徴的な事実は、宣教がただ異文化交流の場で

行われるだけではないということです。一方で、広範囲に及ぶ激しい戦闘のため難民の地となった国々で同じ民族、文化を持つ人々の中で宣教がなされています。これは私が先ほど述べた1例です。

もう1つの例として、福音が政治的、民族的、文化的境界を越えるというものです。AMZIのパートナーであるメシニックジュウの女性の話です。彼女は、イスラエル出身の賜物が豊かに与えられた献身的な女性でロシアに招かれました。彼女は大学で開催された「カバラ・シャバット」で福音を証しする機会が与えられました。そこには、非常に優秀な人物で、地域政界に大きな影響力のある女性が出席していました。この異邦人の女性は、ユダヤ人のメシヤに心を委ね、私たちのパートナーを霊的母とし、今年中に彼女を招き、大学のスタッフにメシヤについて教えるように招待しました。

キャサリーン・メルビン

マーチン・ロッシュ CEO

報告： チャーチ・ミニストリー・アマンダ・ジュウイッシュピープル (The Church's Ministry among Jewish People CMJ)

CMJの中心的な働きはユダヤ人に福音を忠実にかつ適切に伝え、より広範囲の教会にこの仕事を分かち合えるようにすることです。2015年は、下記9科目の重要な事柄を報告できることを喜んでいきます。

- **CMJ** 英国は最近設立(定時制)のコミュニティー・ベースド・エバンジェリスト(CBE's)が2件のミニストリーを開始するということを知りました。その1つは、ロンドン北部に拠点をおき、もう1つは、主にマンチェスターのオーソドックスユダヤ人コミュニティーと共に活動をするというものです。この2件のCBE'sの働きについては、CMJの夏季年次会議では大きな励ましとなる報告ができました。このミニストリーを通して、7人のユダヤ人が始めてイエスに信仰告白を行い(2015年)、いま彼らはサポートされ、フォローアップを受けています。
- **CMJ** スタッフは、他の宣教スタッフ、地域ボランティアと共に、ロンドンのスタンフォード・ヒル地域の現在進行中のアウトリーチ活動を続けています。
- 3人の**CMJ** スタッフは、2件の主要なニューエイジ活動で福音を証しする时机を持ちました。
- 新しくハヌカ・アウトリーチがトラファルガー広場で行われました。チョーズン・ピープル・ミニストリーの同僚と3人の**CMJ** スタッフが加わり、このアウトリーチは行われました。
- **CMJ** 宣教トレーニングコースは目下アップデート中で、2016年後半も行われることを願っています。
- **CMJ** 英国は**CMJ** イスラエルと密に協力し、アウトリーチミニストリーのサポートを進めています。4人の**CMJ** スタッフは、2015年にはイスラエルに基礎を置いた様々なイベントを開催しました。その中には、ヘブル語聖書配布協会(The Society for the Distribution of Hebrew Scriptures)と共にヘブル語聖書の配布に参加しました。
- **CMJ** 英国は、ヨム・キプール(9月23日)のユダヤ人宣教の祈禱会の司会およびリー

ドをしました。この会は、ロンドンセントラルで行われ、様々なユダヤ人宣教グループを代表するおよそ 30 人が参加しました。

- CMJ 英国は、ウェブサイトとソーシャル・メディア・プレゼンスの強化に努力をしています。これは、明確に福音宣教を掲げています。
- CMJ 英国は、多くのメシアニックコングリーゲーションとの良いつながりを確立し、BMJA の 2015 年後半に開催される 150 周年記念式典に 2 人のスタッフが参加します。2 人は、これを記念し、幅広く神学的な考察が記載される重要な本に寄稿することになっています。

アレックス・ジェイコブ CEO OMJ (UK)

報告：デニッシュ・イスラエル・ミッション(DIM: Danish Israel Mission)

2015 年、デニッシュ・イスラエル・ミッション (DIM) は、イスラエルに長期滞在している働き人に助けられました。彼らは、私たちの現地パートナーとの色々なつながりを確立させ、保つという働きに携る人々でした。過去 2 年ほどにわたって、私たちの戦略の一端としてミッションにおけるパートナーシップ（協力関係）に焦点を合わせてきました。

2015 年はこの事をより強力にする年でもありました。これは、イスラエル在住の働き人によるものだけではなく、私たちのサポーターからグループがイスラエルに行き、そこで私たちのパートナーと合流することによっても働きが成されました。

目的は、私たちのサポーターやプロジェクトをイスラエルのパートナーに紹介し、彼らの間の関係をより強力なものとするです。そして、宣教と教会建設に関してイスラエルで何が起きているかについて焦点を当てるのを助けるためです。デンマーク側の見方としては、イスラエルの政治的状況のみが注目され、それはしばしば否定的なものだということです。このことは、イスラエルについて成すこと、また宣教の仕事について、人々に大きな影響を与えています。しかし、イスラエルコングリーゲーション研究ツアーに行き、現地教会とのパートナーシップや長期関与プロジェクトに関与することは大変大きなチャレンジでもあります。そして、私たちは、このチャレンジをしようとしています！

また、デンマークとイスラエルの信仰者とのつながりを強力なものとするため、2015 年にはイスラエルのパートナーがデンマークを訪れ、グループやコングリーゲーションとの対話を行いました。これによって興味を持ち、サポートも起こされましたが、それでもこれが長期に渡るつながりか、または単なる興味だけの訪問かを見極める必要があります。私たちは、イスラエルやその他の地に住むユダヤ人に対して、デンマークの教会が祈り、関心を持つようにすることを働きの一環と見なしています。挫折や失敗があるにしても、私たちのような小さな組織にとって、ユダヤ人福音宣教に最も良い働きは、現地のパートナーを通してデンマークの人々に彼らのことを理解させ、係わり合いを深めるよう刺激を与えることだと理解しています。

私たちは、8 月にイスラエルでの第 10 回 LCJE 会議に参加しました。9 名が参加し、その中の 7 名は 35 歳以下でした。また、そのうちの数名は LCJE ファミリーに始めて紹介

され、他のメンバーは 2014 年キエフで開催された LCJE ヨーロッパ会議に出席していました。DIM の若者がユダヤ人宣教に関わる人たちと交流することは重要なことだと知りました。デンマークでは、ユダヤ人コミュニティーやユダヤ人宣教に関与している人々とのコンタクトは非常に限られています。他の人と交流し、神が他の地域でどんなことをしておられるかを聞くことは励まされ、私たちの小さな働きが神の宣教のどの部分に役に立つかを知る助けとなります。LCJE が私たちに提供してくれるネットワークは必要不可欠なものです。

とても悲しいことではありますが、2 月にコペンハーゲンのシナゴグで起きたテロ攻撃でシナゴグの入り口を警備していたユダヤ人の若者が殺されたことは、デンマークのユダヤ人コミュニティーとデンマーク人コミュニティーとの関係に影響を与えました。また、コペンハーゲンのムスリムのコミュニティーが哀悼を表し、テロ攻撃を激しく非難しました。この事件に先立って、デンマークで割礼を施すこと、儀式的に動物を殺すことを法的に禁止することについて、政治家などの間で激論が交わされました。この事に関係があるのかどうか分かりませんが、テロ攻撃とユダヤ人の若者が殺された後、ユダヤの慣習に対する対策法は表明されていません。この法律制定に関する議論は、デンマークのユダヤ人コミュニティーを支持し、また彼らは、この国でユダヤ人として生活する権利があるという見解を表明する機会を与えてくれました。しかし、デンマークのユダヤ人に、何もアクションを起こさないということから実りある会話に持つていくにはまだ道のりは遠いと理解しています。この件について、私たちの働きが進むように資力、大胆さが与えられますように。

ボディル・スクット CEO

報告：ヤハド (Yachad) オランダ

ユダヤ人宣教サポート機関として、ヤハドは 1986 年以来ダッチ・リフォームド・チャーチに基盤を置いています。現在、オランダ東部オンメンーウエストの現地コングリゲーションと地域教会によって支えられています。

ヤハドは、リフォームド・チャーチのユダヤ人宣教を強調して、リフォームド・シノド（教会会議）の構造中央委員会に参入することを提案しました。シノドはこの私たちの強い勧めには応じないことを決定しました。しかし、ヤハドは来年もオンメンの教会の傘下に入り、ダッチ・リフォームド・チャーチのユダヤ人宣教の働き続けるつもりです。

このような状況において、多くの予備作業が数名の審議会委員によってなされました。また、数名のシノドのメンバー、およびコミュニティーと様々なコンタクトを持ちました。幸いにも、これらの働きのすべてが無に帰したわけではありません。ある部分では、センターや施設、あるいは他の教派との緊密な連携のなか、ヤハドによる教会やユダヤ人サポートを有効的にすることができました。これは重要なことで、世界的に見て、ユダヤ人をメシア的現実に誘う取り組みが進展するということであり、リフォームド・チャーチはこの活動に参加することを強く望んでいます。私たちはこのように働き、また主がこれらのネットワークが拡大するよう祝してくださるよう祈っています。

エルサレムのコル・バ・ミドバー・コングリゲーションのサポート、そしてそれに関連し

たプロジェクトは評価されました。ヤハドは、プロジェクトからプロジェクトを基本に、サポートを続け、またイスラエルの他のプロジェクトも拡大していくつもりです。

2014年、2015年、リフォームド・シノドは、ヤハドが、オランダの教会をサポートし励まし、ユダヤ人との接触を助けるよう要請しました。しかし、このプログラミングは審議会の中心的メンバーであるゲリーテ・レイスタップ氏が突然8月に亡くなり、遅れることになりました。また、サポート地域の統治関係での断絶も原因していました。しかし、2016年前半にはクリスチャン・ウイトネス・トリ・イスラエルの新しいオランダ部門とのミーティングが計画されています。

ヤハドは、教会グループが理解を高め、ユダヤ的祭日がどのように祝われるかを体験するようサポートをしたことは大変評価されました。ヤハドがその支持者や教会がターゲットとするグループとの対話の方法を新しくするよう決定し、その準備はこのエリアから始められました。

監督顧問会議では人事異動がありました。ホクスバーゲン師とジャーナリストのアド・カムスティエグに代わって R・デ・ボア師とドーウィ・スロットが役職に着き、一方、ジャーナリストのアンドレ・グローネワーゲンが委員会のため「特別に奉仕」として約束を表明しました。

2016年にアクションディが計画されました。これは、教会、サポーター、関係者を招き、実際的な問題を論議し、ユダヤ人のために神が現在進めておられるみ業に、彼らの思いを向ける働きを進めるというものです。このように忠実なしもべになることは、ヤハドの目的とすることであり、またこの失望落胆の時代、リフォームド・チャーチの人々がアウトリーチの働きに関わり、参加するのを強化しようというものです。

レイン・ヴィスチャー
セクション ネザーランド

報告：アップル・オブ・ヒズアイ ロシア (Apple of His Eye, Russia)

いま、世界は厳しい時代にあり、様々な状況は判断し難く、時には意気消沈さえします。しかし、主は良い方ですから、私たちは宣教を続けていきます。

メシアニック・オンラインラジオ <<http://www.mashiah.info/>>

私たちのラジオ放送は継続しています。約10年の放送で、リスナーは数万に達しています。(この時点では、300万人に達しています。)

私の友人で同僚であるニコラス・ハスキンは、目下新プログラムをレコーディング中です。1つは、主題的なプログラムで、他方は興味深い人々とのインタビューです。

出版業

私たちは、出版による宣教にも携っています。今、フィンランドのミッション「フレンズ・オブ・イスラエル」と共に、メシアニックジャーナル「シャローム」を新しく出版するように準備しています。私がクリミアに転勤の後、私たちは新しいプロジェクトを始めました。それは、「ワード」というクリミアクリスチャン新聞の発行で、年6回発行され、

ユダヤ人向けに特別にコラムが設けられています。発行数は、年 6000 部となります。

ベラルーシでの宣教

私たちはミンスクでの宣教も継続しています。ニコラス・ハスキンはイスラエルに移った後、彼のCongregation・キッドウーシュでの働きはマイケルが引き継ぎ、高齢のユダヤ人に、年 4 回食料を送る働きをしています。食料は高齢者 1 人につき 1 週間分の食料を配布します。

Rev. Alex Shepelev CEO

報告：LCJE フィンランド

2015 年の LCJE フィンランド(JUST Juutalaisevankelioimisen Suomen tyoryhmä)の活動として、2 件の集会があげられます。1 つの集会は、4 月 13 日、ヘルシンキのカルチャーセンターソフィアでフィンランド・イスラエル・ミニストリーのために朝食会が行われたことです。そこで、私たちのヴィジョンや若者世代に向けてのアイデアを話し合いました。朝食会では、7 つのミニストリーから 10 人の参加がありました。

もう 1 つの集会は、11 月 21 日、年に 1 度のイスラエル会議でその 1 部としてフィンランド・バイブル・インスティテュートで行われました。そこで私たちは 2 回のワークショップを用意しました。1 つは、ウイローバンク宣言に基づいてユダヤ人宣教を考える、他方は、メディアを通して、特に若者世代を動かすことができるかというものでした。このワークショップにはおよそ 40 人が参加しました。

JUST グループは 6 回の集会を持ちました。フィンランドの多くのユダヤ人ネットワークと異邦人ミッション組織からの参加者で構成されたもので、個人的に参加したメンバーもいました。

フィンランドでは、多くの組織が、このような活動をイスラエルやヨーロッパで行っています。ある新しいミッションは、イスラエルのユダヤ人をサポートする活動を始めました。2015 年は、LCJE フィンランド 20 周年となりました。

2016 年、JUST は、リフォーメーション 500 周年とユダヤ人宣教というトピックで集会を計画しています。2019 年 11 月以来、LCJE フィンランドは、またエバンジェリカル・アライアンス・イン・フィンランドに所属し、そのネットワークの 1 部となっています。

ユハニ・コイビイスト フィニッシュ・ルター・ミッション

報告：フィニッシュ・ルター・オーバーシー・ミッション (FLOM)

フィニッシュ・ルター・オーバーシー・ミッション(FLOM Lahetysyhdistys Kylvaja)はユダヤ人宣教の働きを、ロシアのペテルブルク、ウクライナのオデッサそしてイスラエルの 3 地域で行っています。

セント・ペテルブルクでは、FLOM はセント・ジョンCongregationをサポートし

ています。これはイングリア・ルター・チャーチに属しています。このメンバーは、ユダヤ人かユダヤの背景を持っている人たちです。オデッサでは、FLOM はジュース・フォー・ジーザスと共に活動しています。私たちは、JFJ の宣教と教育部門をサポートし、ウクライナ JFJ と協力して、一組のカップルを送っています。イスラエルでは、FLOM はエルサレムのカスパリセンター、テルアビブ・ジャフオのインマヌエルミニストリ、ハイファのエベニーザ老人ホームと協力して活動しています。私たちはこのような取り組みに 4 人の人々を派遣し、活動をサポートしています。

2015 年の新しい取り組み

ベルリンでの JFJ の新しい取り組みに合流する可能性について検討をしましたが、結果、新しい取り組みはありませんでした。

業績と結果

FLOM のユダヤ人の中での活動は継続しています。先の 3 地域に住むユダヤ人に福音は伝えられました。ある人は信仰を持ち、洗礼を受けましたが、リバイバルは起こりませんでした。

最近の動向

再びベルリンは、ユダヤ人が住み、彼らが福音に触れる可能性のあるヨーロッパの都市となりました。

ペンティ・マーティラ オーバーシーズワーク代表
ワーク・アマンダ・ジューススーパーバイザー

報告：ノルウェー・チャーチミニストリー・トゥ・イスラエル (NCMI)

ノルウェー・チャーチミニストリー・トゥ・イスラエル(NCMI)は、宣教の総合的アプローチをしています。例えば、福音の宣言、伝道やミニストリーの介助、社会構築に関わるなどです。NCMI は、ユダヤ人に福音を伝えるという私たちのヴィジョンに則って、ミッションとの協力関係、長期的参加などに力を注いでいます。そのために、NCMI は財政的サポートと長期あるいは短期ミニストリーのために人材を派遣するという組織です。

イスラエル

2015 年、NCMI はエルサレム、テルアビブ、ハイファを拠点として、イスラエルに 5 件の長期海外駐在ミニストリーを行いました。加えて、NCMI が直接に人員を雇ったり、現地パートナーを通して雇ったスタッフを得ています。毎年 4, 5 人のボランティアを送り、11 ヶ月のあいだ施設、ジョン・コングリゲーション、組織に仕えるようにします。2015 年、私たちは、若者の短期チームをイスラエルに送り、福音宣教と実際的なサポートをしました。NCMI は、ノルウェーのバイブルカレッジとも協力関係にあります。その大学のカリキュラムには、イスラエルに 3 ヶ月滞在するというものがあります。2016 年には、インドへの宣教旅行を予定しています。

ルター・ワールド・フェデレーションとの交流とその委任状のおかげで、NCMI は聖職者や現地滞在者のために長期ビザが下りました。この特権は確保しておきたいものです。

私たちのパートナー（テルアビブのインマヌエルチャーチ、ハイファのベイト・エリヤフ・センターと Congrégation、エルサレムのカスパリセンター、ムサラハ・リコンシリエーションセンター）とスタッフを通して、私たちは膨大な人たちと接触し多くの人々が信仰を持ち、かつてないほどの人が洗礼を受けました。多くの方が私たちのスタッフに近づき、カウンセリングを受け、人生の意義を求めています。2015 年のクリスマスには、800 人以上の人がインマヌエルチャーチの礼拝とイベントに出席しました。

ブリッジビルダー4 番目のプログラムは 2015 年ヨルダンで終了しました。2016 年の秋には新しいプログラムが始まります。

東ヨーロッパ

NCMI は、出向ワーカーを通して、ウクライナでジュース・フォー・ジーザスと協力しています。また、ロシアのアップル・オブ・ヒズアイのオンラインラジオと出版ミニストリーとの協力、また Gisle Johnson Institute を通してハンガリーのエバンジェリカル・ルター・チャーチ、ブカレストのメシアニック Congrégation Mesiah lui Israel とも協力関係を築いています。

ノルウェー

ノルウェーのローザンヌ活動は、エバンジェリカル・アライアンスとエキュメニカル・ミッション協議会の NORME と合併しました。2015 年の年次大会はゲストスピーカーを迎えて、リコンシリエーションとユダヤ人宣教に焦点を当てて開催されました。100 人以上の参加がありました。また、ヨーロッパ各地から、30 人以上の若者のリーダーが集まり、2016 年インドネシアで開催される LCWE 青年リーダー会議の準備をしました。

2015 年、エルサレムのカスパリセンターの協力のもと、ノルウェーの青年リーダーのために特別宣教学コースが計画されました。

ロルフ・G・ハイトマン CEO